保健講話を行いました

（R8．９．２９）

宮﨑千恵婦人クリニックの宮﨑千恵先生をお招きし、保健講話を実施しました。

本校の保健講話は、岐阜市性教育研修事業によるもので、産婦人科医と連携した「性に関する教育」の実施を通して、中高校生が生命の大切さを理解し、人間尊重、男女平等の精神に基づく正しい異性観をもち、望ましい行動がとれることを目的として、毎年全校生徒を対象に実施しています。

月経の仕組みや妊娠・出産、エイズ等の性感染症、将来の人生設計に関することなど幅広く生徒に必要な知識をご講演いただきました。今回の講話で感じたことや学んだことを忘れず、自分や周りの人を大切に考え、行動できるよう生活を送ってほしいと思います。

【生徒感想（一部抜粋）】

- 性感染症のリスクや仕組みについて改めて知ることができた。子宮頸がんや将来子供ができなくなってしまうことがあるので、ワクチンを打ったり、性感染症になったりしないように気をつけたい。
- 自分が生きていられるのは当たり前ではない。改めて自分の身体を大切にしないといけないと思った。自分も大人になっていく身として、まだまだ知らないことも多いと感じたので、性についてもっと知っていく。
- 性感染症はすごく怖いものだと分かったし、自分だけじゃなく他の人にもうしてしまう可能性があるから気をつけたいと思った。
- 妊娠や性感染症について学んだことのある内容を確認する機会になってよかった。自分の生き方について改めて考えるきっかけになった。
- 望まない妊娠をしてしまう人もいて、他人事ではないなと感じた。
- 性感染症は身近な問題であり、正しい知識をもつことが大切だと分かった。知らないうちに感染している可能性もあると知り、自分と相手を守るためにも正しい知識をもって責任ある行動をすることが大切だと感じた。